

ビフレンダー BIFRENDER

第 74 号 2009年6月

4月18日、当センター理事西原明牧師が逝去されました。1978年島之内教会で由記子夫人と共に自殺防止センターを設立。1998年東京に移り東京自殺防止センターを立ち上げられました。30年間に亘り牧師の傍ら自殺防止のために活動され、常に多くのボランティアの支えになって下さいました。ここに謹んでお礼申し上げるとともに心よりご冥福をお祈り申し上げます。

すでにご存知の方もいらっしゃると思いますが、昨年12月16日付毎日新聞に紹介されました記事の一部を転載させていただきます。

僕の命はあと一年だそうです。昨年(2007年)の大晦日。東京の新宿のNPO法人自殺防止センターで相談員の仲間達と年越しそばを食べていると、西原明さんが唐突に切り出した。“主治医に手術は無理と言われ、正直ほっとしました。闘うより毎日やりたいことをする。僕にはそのほうが向いています。”淡々とした口調に聞こえた。来年も一緒にそばを食べましょうよ。誰かが声を上げた。除夜の鐘が08年の始まりを告げていた。(萩尾信也)

最後に電話担当に入られたのは2008年の大晦日の夜から2009年の元旦にかけてでした。本当はかなりの痛みがあったのだそうですがやるべき事をやり終えて、そのまま病床に臥されたという、まさに命をかけての自殺防止への思いだったのではないのでしょうか。ご自身がんと向き合い、自殺という死に真正面から取り組んでこられた一年余り。大きな足跡を残された生涯だったのではないのでしょうか。

亡くなられた後掲載された毎日新聞(5月6日付)の記事を別紙で添付させていただきます。

合掌

西原明さん追悼文

大阪自殺防止センター初代運営委員長 深尾 泰

西原明さんと出会ったのは1973年(昭和48年)秋、島之内教会で関西いのちの電話がスタートしたときでした。ともに相談員として参加しましたが、明さんは島之内教会の牧師で、上方落語復興のきっかけとなった島之内寄席や劇団、室内楽、コーヒーハウスなどに教会を開放し、大阪万博直後の活気あふれる大阪ミナミで輝いていました。当時私は20代、明さんは40代でヒゲの似合うビールが好きな牧師さんでした。

4年後、青少年の自殺が急増し、これに心を痛めた関西いのちの電話のメンバー38人が、自殺防止に相談の目的をしぼった「自殺防止センター」を立ち上げました。設立の打ち合わせで、明さんはみんなをぐいぐい引っ張って下さいました。メンバーで一番若い私が運営委員長に選ばれ、会議では明さんとしばしば激論したことがなつかしい思い出です。

2008年3月、東京センターでコーヒーハウスに出かける前の明さんと話しました。脳溢血による不自由な体、3度目の大腸がん発症にもかかわらず、コーヒーハウスに集まる人を気遣いながら、「来年の桜は見られるかなぁ…」とつぶやいておられました。

そして今年の3月、ご自宅に明さんを訪ね、一緒に写真を撮ることをお願いし左手で描かれた花が立体的ですばらしいという、「そう言われちゃあ、見せないわけにいかんなあ」と次々作品を見せていただきました。自分の死を孫はどう思うだろうか、とおっしゃったので、私の母が孫たちに囲まれて臨終を迎え、今その印象を孫たちが語っていることをお話すると、何かイメージが湧いた様子で、うんうんとうなずいておられました。その日は左手で握手して「また会いましょう、どこで会うかは別として」とお別れしました。



BW 会議で訪問した
スコットランドの教会
西原 明 作

西原明さんを偲んで

大阪自殺防止センター 前所長 横田 康生

私が大阪自殺防止センターの相談員として認定を受けた1984年は、センターが設立5周年を迎え、国際ビフレンダーズの一員としての活動が精力的に展開されようとしている時でした。

語学に堪能な明さんは、国際ビフレンダーズから、多くのことを学び、それを積極的にセンターの活動に取り入れていかれました。中でも、印象的なのは「フォローアップ制度」です。一定の基準の下、危機の迫っているコーラーに、センターから電話をし、傾聴とビフレンディングにより、コーラーを支えるフォローアップは、コーラーだけでなく、ビフレンダーにとっても有益なシステムとなりました。

1998年東京センターが開設されるまで、養成講座のスタッフとして共に研修に関わることも多く、海外研修にも三度ご一緒させていただき、お人柄にふれる機会も多かったと思返しています。太い眉の下で時には厳しく、時にはやさしかった瞳、そして常に言葉を大切に使い、ビフレンダーを育てられた明さんは、日本のチャド・ヴァラーのような存在に思えます。

何度も病を克服し、自殺防止活動に情熱を燃やし続けられた明さんに改めて大きな拍手を贈り、敬意を表します。

「あきらさん」を偲んで

大阪自殺防止センター 所長 澤井 登志

私は、直接あきらさんに研修は受けていません。ボランティア研修に来た時にはすでに東京に転出された後でした。

昨年9月のBW年次総会に参加した時タイで数日ご一緒させていただきました。移動中の車の中で私が質問することについて、ひとつひとつ優しく応えて下さっていた事を思い出します。

サマリタンズのことや大阪センター設立の思い等々もっともっといろいろ教えていただきたいことがいっぱいありました。

たぶんこの言葉を聴くとあきらさんは「いろいろってどんなこと？」って尋ねられると思います。

いつも会うたび別れ際に「大阪の事をよろしく」とおっしゃって握手して下さいました。微力ながらあきらさんゆっこさん(西原夫妻)が築いて来られた大阪自殺防止センターを守り続けたいと思います。ご冥福をお祈りいたします。

自死遺族の会のご案内

自殺防止センターでは二つの自死遺族の会を開催しています。自死でご家族を亡くされた遺族の方々が、普段なかなか語る事の出来ない辛い胸のうちを語りあって頂く場となっております。

土曜日のつどい・・・毎月第1土曜日 午後2時～4時

大阪南港 piaNPO 参加費 300円(1月と5月は休会)

水曜日のつどい・・・毎月第3水曜日 午後5時～7時

JR 茨木駅近く渡辺クリニック 参加費 300円

土曜日と水曜日のつどいのお問合せは自殺防止センター事務局

06-6251-4339まで

第70期の養成講座はじまる！

5月30日より第70期のボランティア養成講座が始まりました。今回は新聞社等で募集記事を大きく取り上げて頂いた事で約30名の応募がありました。一年という長い研修期間ですが私たちの仲間となって下さるよう御待ちしております！

西原明さんの追悼式のご案内・・・・・・・・・・・・・・・・

大阪島之内教会で西原明牧師を偲ぶ会が開かれます。どうぞご参加頂き明さんの話に華を咲かせて下さいますようお願いしております。

日時：7月26日(日) 午前10時半から故西原明記念礼拝

午後14時から故西原明追悼演奏会

(語らいのひととき)

追悼式お問合せ先 日本キリスト教団 島之内教会 TEL06(6271)8202

**Befrienders
Worldwide**

特定非営利活動(NPO)法人

国際ビフレンダーズ・大阪

自殺防止センター

〒552-0021

大阪市港区築港2丁目8-24-309

TEL 06-6251-4339

FAX 06-6243-1199